

NTT西日本グループでは、社員の環境意識向上に向けて様々な環境教育を実施しています。

1.環境セルフチェックセミナー

NTT西日本グループでは、環境セルフチェック(P17)を行うにあたり、各組織の実施責任者となる社員を対象に環境セルフチェックセミナーを開催しています。

本セミナーは、環境セルフチェックを実施するためのスキルの習得にとどまらず、環境法令や環境に関する社会的動向等の知識の習得と、環境保護活動に対する意識向上の役割を兼ねた環境教育の一環としており、2012年度は、173名が受講しました。また、セミナーは環境負荷低減のため、2006年度から遠隔研修にて実施しています。

環境セルフチェックセミナー風景



2.環境保護研修

NTT西日本グループで働く一人ひとりの環境保護活動に対する意識醸成を図ることを目的に、約8万人に対してWebを活用した環境保護研修を実施しました。

本研修では、環境対策の重要性に加え、西日本グループが取り組む環境経営等の知識習得を通じて、一人ひとりが取り組むアクションプランを立案しました。

環境保護研修テキスト



3. 環境担当者向け、みどりいっぱいプロジェクト研修会

2012年度環境担当者研修会は、大阪府富田林市奥の谷(里山保全フィールド)で2月21日・22日に開催しました。

生物多様性保全の取り組み、企業としての活動を理解することを目的として、2つの講演と里山保全活動の体験、そして、これから一丸となって活動していくためのグループディスカッションを2日間にわたって研修しました。

生物多様性保全について、大阪堺共生の森でもお世話になっている公益社団法人 大阪自然環境保全協会(ネイチャーおおさか)代表 夏原 由博先生(名古屋大学 環境学研究科 教授)に、「生物多様性とは?」と題して、それぞれの地域、生物、人のそれぞれの課題について、取り組むことの重要性や、急激な生態系の変化が及ぼす我々への影響等について講演をしていただきました。

また、里山保全フィールドでは、「富田林の自然を守る会」の田淵 武夫先生から、ビオトープや畑、田んぼの生物、竹の侵食、林の話等、実物を見ながら里山の自然についてお話を伺いました。

企業の活動について、滋賀県の琵琶湖を中心とした環境運動を実施されたり、各地のNPOと企業、市民を結ぶ活動をされている275研究所(TSU.NA.GO Research Institute)の丸尾 哲也先生・菱川 貞義先生に、「NTT西日本における「生物多様性」」と題して、ヨシ刈りからはじまった滋賀県でのNTTグループの活動の紹介をはじめ、環境保全活動や社会貢献活動では、それぞれ参加する人が得意なことを行うことが重要であること、また最近のソーシャルの動きや、共感型価値創造の社会貢献を通じたビジネスについての講演をしていただきました。

2日目は、みどりいっぱいプロジェクトを、より良いものにしていくため、「生物多様性保全とICT」についての勉強会と、「みどりいっぱいプロジェクトの推進に向けて」と題してグループディスカッションを行いました。

活動場所

■ 大阪府富田林市奥の谷

参加人数

■ 37名

